第1章

二戸市の都市づくりの理念

1. 二戸市の都市づくりの理念

受け継ぎ 育て 未来に繋げる都市づくり

私たちが暮らす「二戸市」は、東西に折爪岳、稲庭岳を擁し、馬淵川と安比川に沿った河岸段丘に市街地が形成され、この特徴的な地形は、豊かな自然と美しい風景を醸し出す一方、傾斜地が多く、都市計画においても地形上の制約が課せられてきました。

先人たちは、その制約のなか知恵を絞って自然と共存し、暮らしを営み永い年月をかけて、二戸ならではの「宝（地域資源）」を創り出してきました。

近年の急速な社会経済情勢の変化は、人々の暮らしや価値観にも変化をもたらしましたが、本市には、精神的な拠り所として、後世に引き継ぐべき多くの「宝」が残されています。

この「宝」を核に、人々が集い、憩い、歴史ある古(いにしえ)からの地域と新たに芽生えた地域を、人が行き交い、ここに暮らす全ての人が力を合わせ、未来に向けた安全で暮らしやすいまちを育むとともに、新たな技術を土台とした社会や発想に柔軟に対応し、女性や若者が住みたい、戻ってきたいと思えるまちづくりを進めます。